

第5次飯能市総合振興計画後期基本計画（案）に対する意見募集の結果について

- 実施期間 令和3年12月15日(水)から令和4年1月4日(火)まで
- 実施結果 12人（インターネット回答10人、意見箱への投函2人）

No.	意見の概要	意見に対する市の考え方
1	清流（水質）保全のためには森林教育が重要である。	ご意見ありがとうございます。分野別の基本施策「未来を拓く教育の推進（P.74-75）」の主な取組に森林環境教育を位置付けるとともに、重点施策（P.50）としても掲げています。
2	飯能の特色ある農業に目が向けられていない。野口種苗（固定種）や有機・無農薬栽培などを積極的に支援すれば、新規就農者の増加につながるのでは。	ご意見ありがとうございます。新規就農の相談は増加傾向にあります。引き続き就農支援のほか、就農者の生産性や所得の向上、新たな農産品ブランドの創出にも取り組んでいくことについて、分野別の基本施策「都市型農業の振興（P.62-63）」の主な取組に位置付けています。
3	飯能市の有機農業を支援してもらいたい。	ご意見ありがとうございます。引き続き、当事者（就農希望者等）の考えに基づき必要な支援をしていきます。
4	空き家バンクの情報を市として積極的に収集することで転入者を増やせる。	ご意見ありがとうございます。空き家バンクの登録及び移住希望者からの問い合わせは増加傾向にあります。分野別の基本施策「快適な居住と住宅地の形成（P.134-135）」に空き家バンク等を活用した移住定住施策の推進を位置づけ、物件登録件数の目標値として令和7年度時点で120件(令和2年度時点で61件)と設定し、引き続き取り組んでいきます。
5	「農のある暮らし飯能住まい」は良い取組だと思う。	ご意見ありがとうございます。“農のある暮らし”「飯能住まい」制度は、移住定住施策や南高麗地区の活性化策として引き続き非常に重要な取組となります。分野別の基本施策「戦略的な土地政策（P.132-133）」等に位置付けるとともに、重点施策（P.49）としても掲げ引き続き取り組んでいきます。
6	新設する予定の「道の駅」に、かき氷専門店を併設したらどうか。また「道の駅」の場所について何か所かご提案あり。	ご意見ありがとうございます。今後の参考とさせていただきます。
7	山間地域振興にはそれほど力を入れないで欲しい。コンパクトシティが良いと思う。	ご意見ありがとうございます。本市としては、計画案に記載のとおり、広い市域の特性に応じたコンパクトプラスネットワークのまちづくりや立地適正計画の策定の検討を進めるとともに、分野別の基本施策に「山間地域の持続的活性化（P.146-147）」を位置付け、総合的な視点から様々な政策により山間地域の活性化に取り組んでいく考えです。
8	観光にはお金をかけず、IT環境の充実や子供たちの未来のためにお金を使ってもらいたい。	ご意見ありがとうございます。後期基本計画における基本的な視点（P.46）に「自然災害に強く、快適な住環境が整い、子育て世代が安心して暮らせるまちづくり、雇用創出、まちなかの賑わいや観光消費の促進による地域経済の発展」などへの投資について位置付けています。同時にデジタルトランスフォーメーションの推進も位置付けております。将来都市像の実現に向け必要な取組をバランス良く実施していきます。

No.	意見の概要	意見に対する市の考え方
9	観光施設より、例えば飯能第一小学校などにお金をかけてもらいたい。	ご意見ありがとうございます。後期基本計画における基本的な視点を踏まえ計画を進めていきます。また、飯能第一小学校については、公共施設の集約化、複合化も視野に入れた施設整備について、分野別の基本施策「戦略的な土地政策（P.132-133）」に位置付けるとともに、重点施策としても掲げています。
10	「ノーラ名栗」、「割岩橋のライトアップ」は失敗。地に足をつけた考えで税金を使うこと。	ご意見ありがとうございます。今後の参考とさせていただきます。
11	都市回廊空間のイメージ図に、狭山日高ICからの流れだけでなく、青梅IC、入間ICからの人の流れも図示した方がよい。	ご意見ありがとうございます。人の流れのイメージとして反映いたしました。（P.13）
12	市の独自策として「ETC2.0取替・取付キャンペーン」を実施すれば効果的では。	ご意見ありがとうございます。ETC2.0の搭載で、圏央道の料金が通常のETC料金比で約2割引となること、また高速道路からの一時退出が可能となる等、観光地や道の駅のような休憩施設へ立ち寄りやすくなるメリットが考えられることから、今後の参考とさせていただきます。
13	目標人口80,000人の達成に向けた具体策が無い。	ご意見ありがとうございます。将来都市像実現のための目標の一つとして、目標人口80,000人、交流人口480万人を掲げており、この目標を達成するために必要な分野ごとの基本方針を示したものが「後期基本計画」です。分野ごとの詳細な取組については、実施計画（P.6に概要説明あり）のほか、施策によっては個別計画を策定し実施しています。
14	交流人口480万人の達成は、コロナの影響などが見通せないなか過大である。	ご意見ありがとうございます。新型コロナウイルス感染症の影響により交流人口は大幅に落ち込みましたが、それ以前までは目標達成に向けて交流人口は増加傾向にありました。新型コロナウイルス感染症の影響が見通せない状況ではありますが、本市としては、ポストコロナも見据えて必要な取組を行いながら引き続き交流人口480万人を目指して取り組んでいきます。
15	学校教育の決定権は子どもたちにあることが相応しい。学びの保障は政治の責任。	ご意見ありがとうございます。未来の社会を生き抜く力を育むためには、子ども達の能力、適性等に応じた学びや「主体的・対話的で深い学び」のある授業の実現など学びの改革を進める必要があります。同時に、学校・地域・家庭が対等な立場でそれぞれが当事者となり、子どもたちの豊かな成長を社会総がかりで実現できるよう取り組む必要があると考えており、これらについて、分野別の基本施策「未来を拓く教育の推進（P.74-75）」、「学校・地域・家庭の連携と地域の教育力向上（P.76-77）」に位置付けるとともに、重点施策にも掲げております。
16	シルバー世代の活用よりも、若者の起用を積極的に行うことで、移住・定住につながる。	ご意見ありがとうございます。本市では、20代特に女性の転出超過が目立っており、市外や都内への就職等が主な理由と考えられます。市内に就業する支援をしていくことで転出抑制につながっていくことは重要であり、分野別の基本施策「企業誘致・起業支援・就業支援（P.68-69）」に位置付けています。 一方で、シルバー人材センター等との連携により高齢者が生き生きと暮らせる取組も引き続き必要であると考えています。
17	ひとり親世帯への支援を充実させてもらいたい。	ご意見ありがとうございます。分野別の基本施策「切れ目のない子育て支援（P.70-71）」の主な取組に「配慮を要する子どもや支援が必要な家庭への支援」を位置付けており、具体的には個別計画である「飯能市子ども・子育てワクワクプラン」において「ひとり親家庭の自立支援」等の各種支援策について位置付けております。これらの計画に基づき引き続きひとり親家庭への支援の充実を図っていきます。

No.	意見の概要	意見に対する市の考え方
18	特定健診の受診率アップのためのインセンティブを検討してもらいたい。	ご意見ありがとうございます。特定健康診査受診率はコロナ禍で減少傾向となっておりますが、引き続き受診率の向上等について分野別の基本施策「国民健康保険・後期高齢者医療制度の健全運営（P.98-99）」の主な取組に位置付けるとともにKPIを設定し取り組んでいきます。なお、受診への動機づけの一つとして、年度内40歳到達の受診者を対象にしたインセンティブ（500円分の図書カード）を実施しており、今後は対象者の拡充を含め、より効果的な取組を検討していきます。
19	協働を呼びかけるのは良いが、無報酬でいいのか。	ご意見ありがとうございます。様々な分野、様々な形の協働があると考えますが、性質や内容に応じて報酬をお支払いしているものもあります。なお、本市における協働の考え方としては、後期基本計画における基本的な視点（P.46）にあるとおり、活動主体との継続的な対話を通じて、行政へのニーズの把握や市の役割を果たしながら、それぞれの得意分野を生かした効果的な協働を進めていく必要があるとしております。
20	道路や公園、河川清掃などを行うボランティアに対し、ゴミ袋くらいは提供してもいいのでは。	ご意見ありがとうございます。市民清掃デーや道路清掃などにおいては、ゴミ袋の配布を行っておりますが、引き続き協働の内容に応じて市の役割を果たしながら効果的な協働を進めていきます。
21	生徒が少ない学校の統廃合を進めてもらいたい。	ご意見ありがとうございます。本市では、学校規模の適正化に努めるとともに、一部では小規模特認校制度を導入し、豊かな自然に恵まれた環境を生かして特色ある教育に取り組んでいます。引き続きこれらに取り組むため、分野別の基本施策「未来を拓く教育の推進（P.74-75）」に位置付けております。
22	「平和都市宣言」「パートナーシップ制度」の創設は誇らしく思う。	ご意見ありがとうございます。引き続き取組の周知や啓発に努めていきます。
23	計画に書かれていることは素晴らしいが、行動が伴っていないのではないかな。	ご意見ありがとうございます。市民意識調査結果等により、施策に対して満足度が高い分野、不満度が高い分野などが明らかになりました。また市職員の対応に関しては、電話応対等の満足度は高かったものの、対応のスピード感や問題解決力の満足度は十分ではありませんでした。これらの結果を踏まえ、課題解決に向けて各分野での取組を更に進めるとともに、職員対応力の向上にも努めていきます。
24	パブコメの募集期間が短い。入力可能文字数（インターネットのみ）も少ない。	ご意見ありがとうございます。期間や文字制限（インターネットの場合）についてご不便をおかけして申し訳ございません。今後の参考とさせていただきます。
25	広く市民の声を聴き、市民の為になることを第一に考えてもらいたい。	ご意見ありがとうございます。後期基本計画の基本的な視点（P.46）に「対話と協働によるまちづくり」を位置付けており、「市民とともに作る飯能市」をキャッチフレーズに、新井市長のもと取り組んでいきます。
26	阿須山中土地有効活用事業に対して①（6件） 計画に書いてある内容と、阿須山中事業との整合性が取れていない。	ご意見ありがとうございます。本計画書は、森林文化都市宣言やSDGsの趣旨を踏まえた内容としていますが、これらと阿須山中土地有効活用事業との整合性が図られていないのご指摘であると考えます。 森林文化都市宣言は「自然と都市機能との調和」が、SDGsは「社会、経済、環境の3側面のバランス」及び「17の目標は一体不可分であること」がそれぞれ前提となっています。いずれも自然の保全のみの内容ではないことや、当該事業の背景や趣旨等から総合的に捉える必要がありますが、現在進めている当該事業への確認作業により方向性を示していくものと考えます。

No.	意見の概要	意見に対する市の考え方
27	<p>阿須山中土地有効活用事業に対して②（6件）</p> <p>計画書になぜ「阿須山中」という単語が出てこないのか。計画に明文化されないまま進めて良いのか。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。後期基本計画は、基本構想を実現するために分野ごとの基本的な方針、方向性等を示したものです。具体的な取組等については、実施計画や個別の計画、毎年度の予算付けの中に位置付けて取り組んでいることから、阿須山中土地有効活用事業のように、所定の要件に基づき市有地を民間事業者に貸し出すといった個別具体的な取組については記載しておりません。</p>